

# レノスポーツ

## —基本—

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

### ■梱包明細書

#### ①中間柱セット

名	称	異数
中間柱		2

#### ②雨樋柱セット (2梱包)

名	称	異数
雨樋柱		2

#### ③前後桁セット (2梱包)

名	称	異数
前後桁		1

#### ④中間桁セット

名	称	異数
中間桁		1
桁カバーA		2
桁カバーB		1
丸樋(L=1100, φ42)		1
アーチカバー用ゲージ(A, B)		各1

#### ⑤側桁セット (2梱包)

名	称	異数
側桁(R, L)		各1

#### ⑥中間梁セット (2梱包)

名	称	異数
中間梁(R, L)		各1
パネル受け		4

#### ⑦アーチセット

名	称	異数
中間アーチ(EXT)(ビート材:黒)		6
中間アーチ(SP)(ビート材:グレー)		4
アーチカバー		22

#### ⑧中骨セット

名	称	異数
中骨(EXT)		24
受け中骨(EXT)		4
受け中骨(EXT)(R, L)		各2
中骨(SP)		16
受け中骨(SP)(R, L)		各4

#### ⑨屋根材セットA (2梱包)

名	称	異数
屋根材A(硬質塩ビ板)		4

#### ⑩屋根材セットB (4梱包)

名	称	異数
屋根材B(鋼板)		2

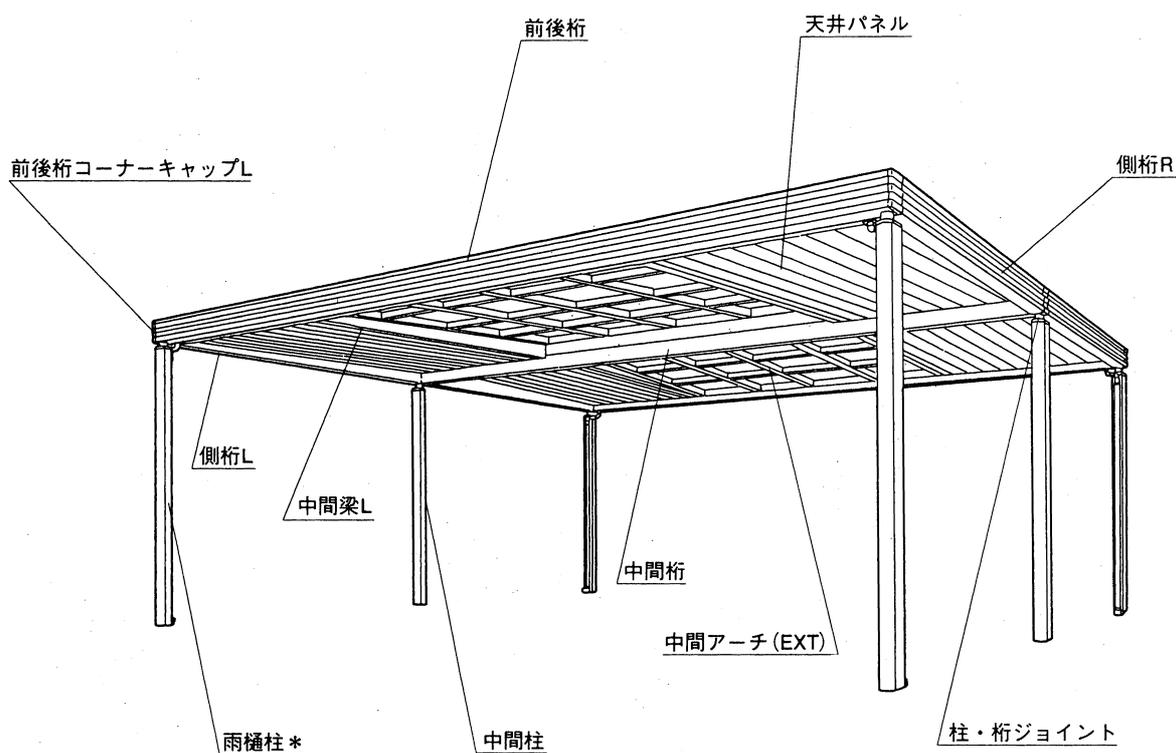
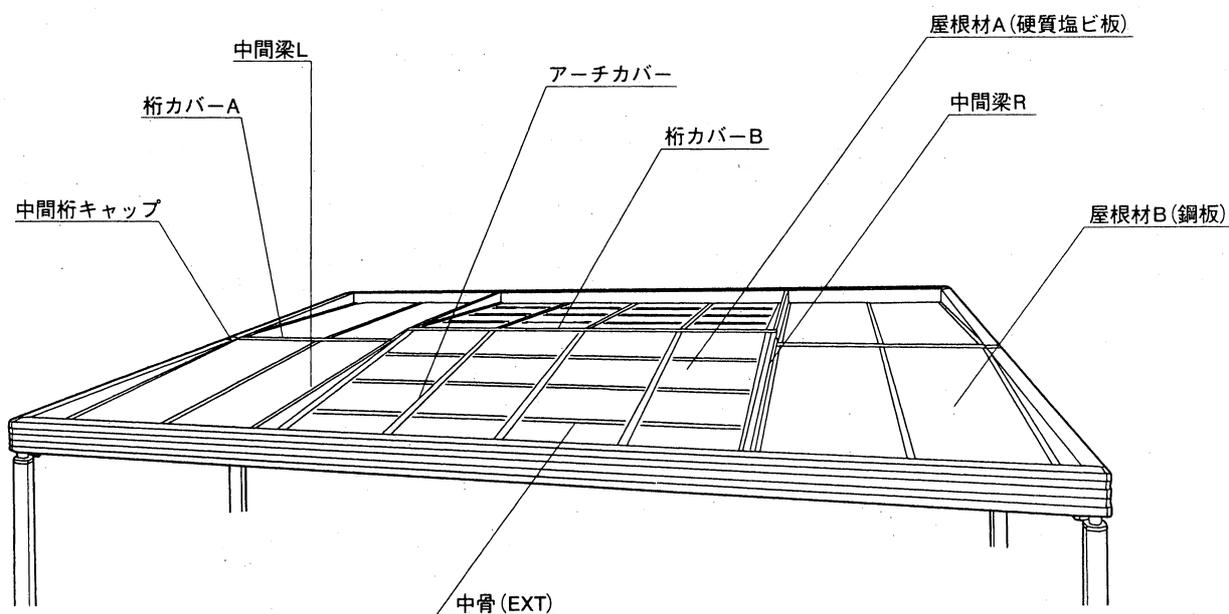
#### ⑪天井パネルセット (2梱包)

名	称	異数
ストリンガー		12
天井パネル		18
天井パネル(サイドA, サイドB)		各2

#### ⑫部品セット

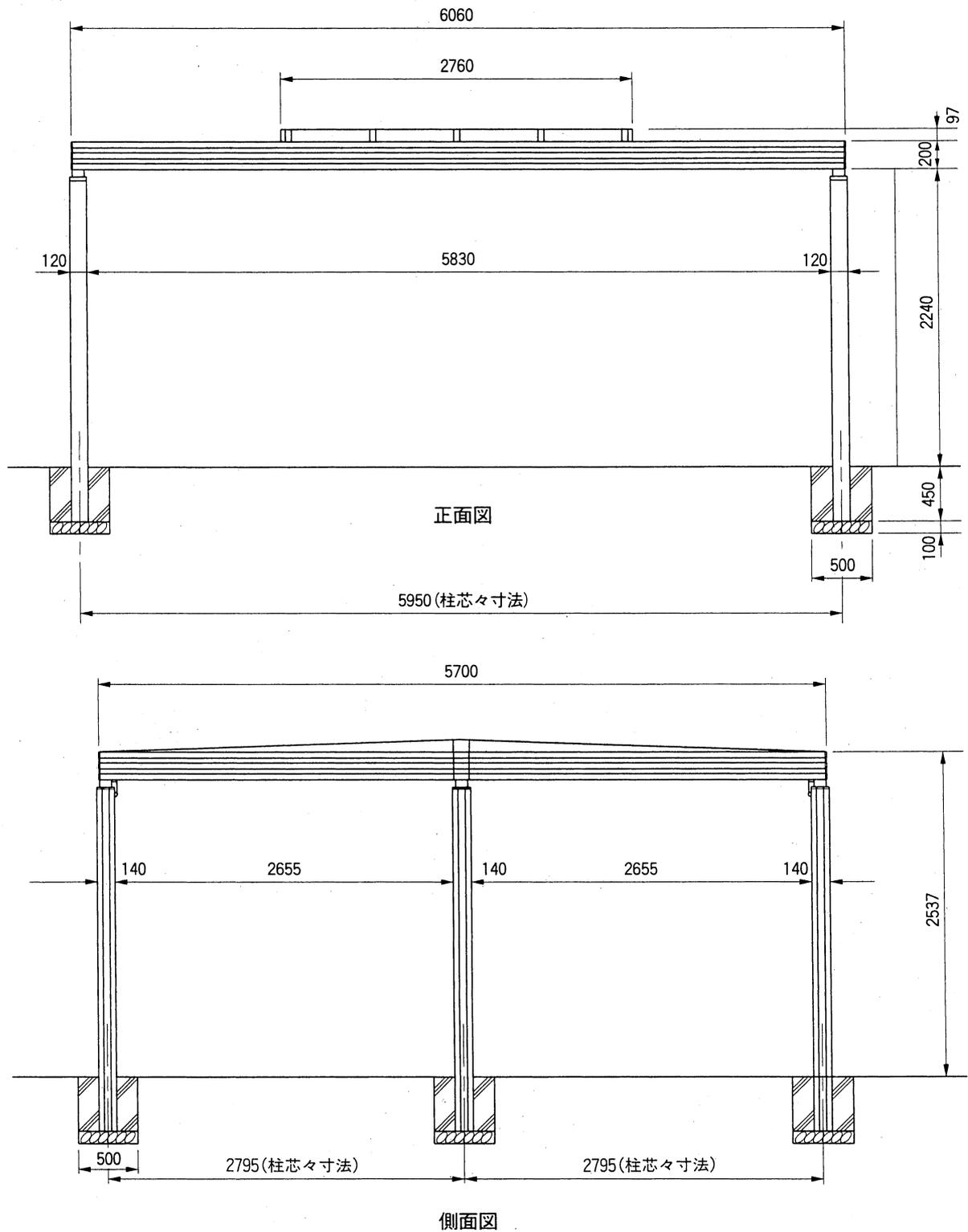
名	称	異数
柱・桁ジョイント		6
前後桁コーナーキャップ(R, L)		各2
中間桁キャップ		2
排水口(R, L)		各2
前後桁裏板		4
中間桁裏板		2
前後桁・中間桁取付ボルト M10×35六角ボルト(ワッシャー付)		18
柱・桁ジョイント取付ネジ φ5×16トラス		24
側桁取付ネジ φ5×10トラス		32
アーチ取付ネジ φ4×10トラス		50
ストリンガー取付ネジ φ4×10トラス		50
桁カバーA, B取付ネジ φ4×12ナベ		46
中間梁取付ネジ φ4×12ナベ		32
前後桁コーナーキャップ・中間桁キャップ取付ネジ φ4×14トラス		16
アーチカバー固定ネジ φ4×19ナベ(ピアス)		22
排水口取付ネジ φ4×10トラス		4
パネル受け取付ネジ φ4×10サラ		58
後付ビート材		4
アンカー棒		6
コーキング剤		1
雨樋セット	アタッチメント	4
	パッキン	4
	エルボ	8
	樋受け	4
	アタッチメント・樋受け取付ネジ φ4×10トラス	16
接着剤		1

# 1. 姿図及び各部名称



\*：オプションの“レノスゲート”を取付ける場合は“レノスゲート用雨樋柱”となります。

## 2.基本寸法

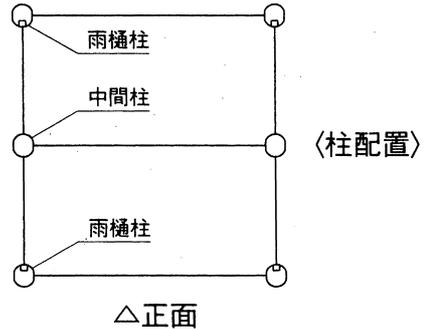
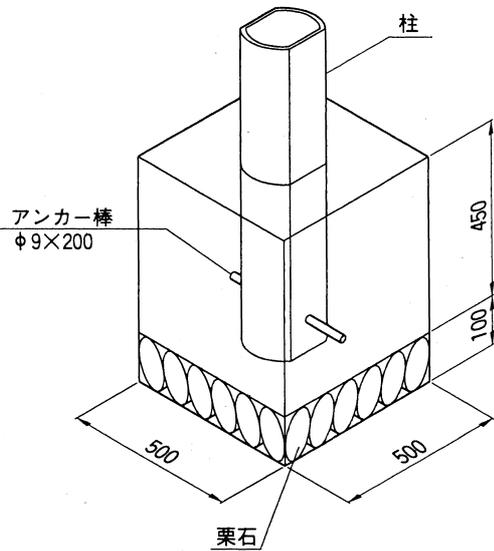


〈注意〉 オプションの「レノスゲート」を取付ける場合は、組付作業開始時に必ず「レノスゲート」用の取付説明書を  
ご一読下さい。後戻り作業が発生します。

### 3. 基礎施工

①コンクリート施工は骨組完了後に行い、硬化後屋根材を組み込んで下さい。

②アンカー棒（φ9×200）は必ず施工して下さい。



### 4. 柱桁ジョイントの取付け

①柱・桁ジョイントをM10×35六角ボルト3本で前後桁に取り付けます。

注1) 前後桁裏板は（↑雨樋側）の刻印の通り方向を合わせて下さい。

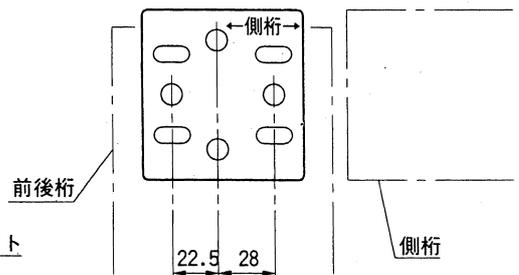
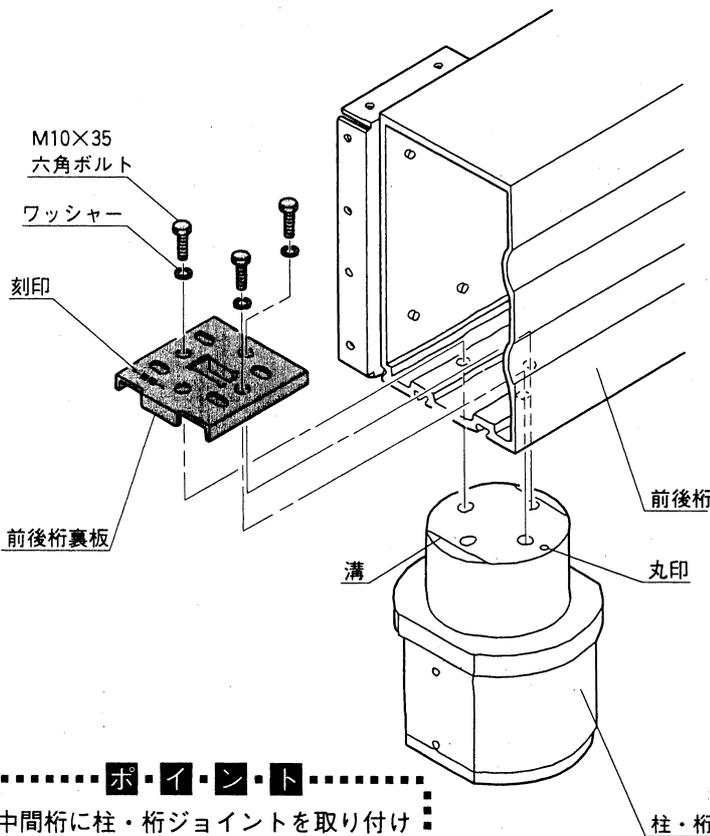
注2) 前後桁端部は、柱・桁ジョイント座面の溝と合わせて下さい。

注3) 柱・桁ジョイントは、丸印を前面側とします。

②同様に柱・桁ジョイントを中間桁に取り付けます。

注1) 中間桁裏板は（←側桁→）の刻印の通り方向を合わせて下さい。

（下図参照）

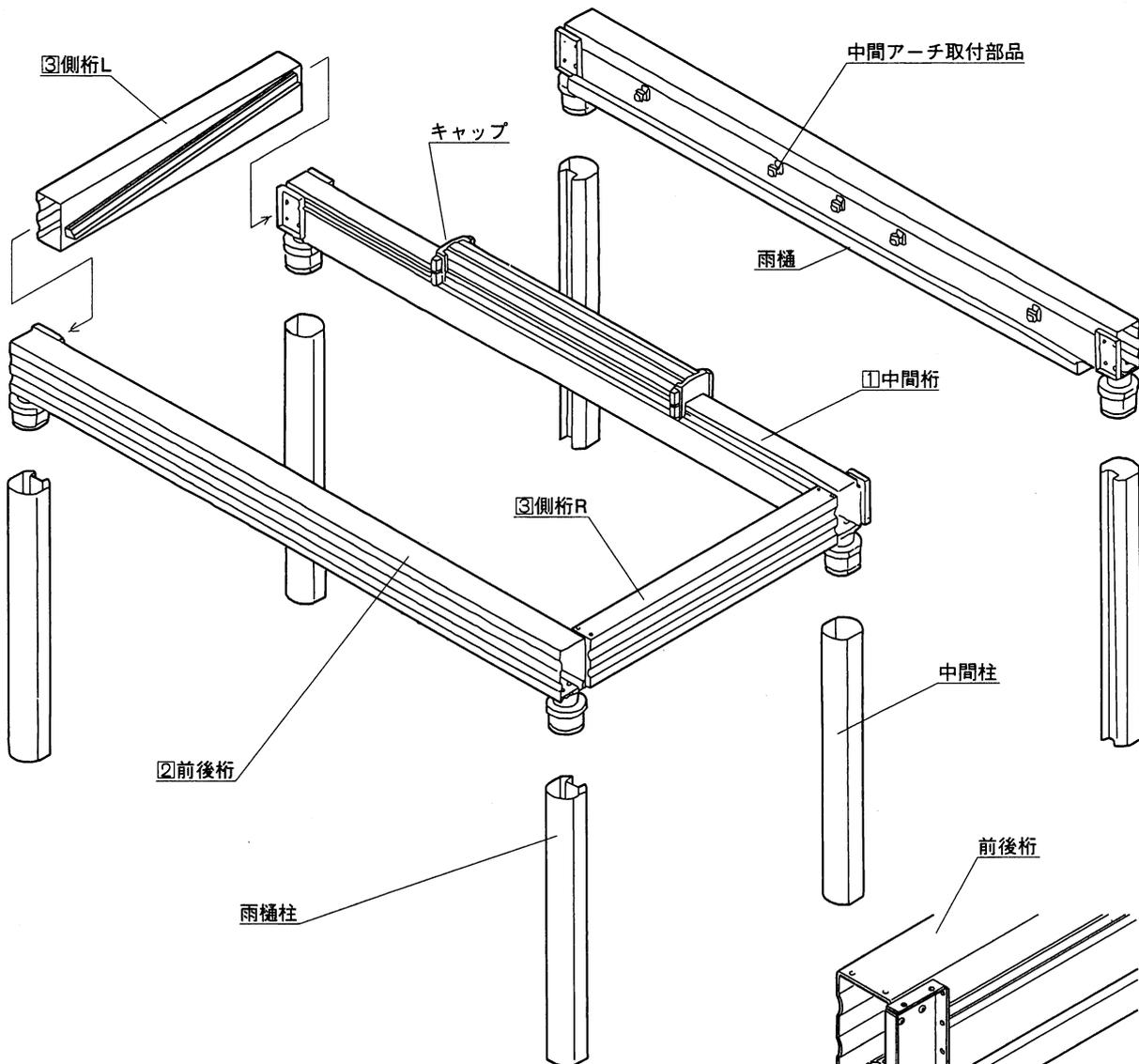


**ポイント**

中間桁に柱・桁ジョイントを取り付ける場合、下図のどちらかの方向で穴位置が合います。

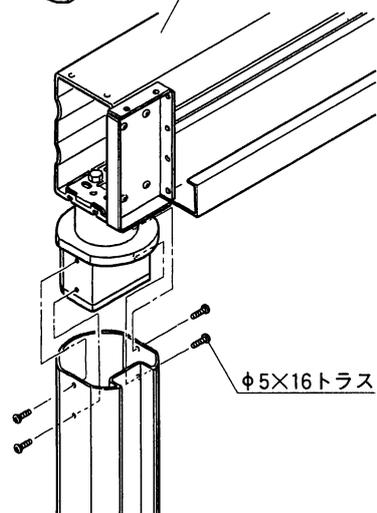
注2) 中間桁、前後桁、前後桁裏板、柱・桁ジョイントも同様のピッチとなっています。

# 5. 中間桁・前後桁の取付け



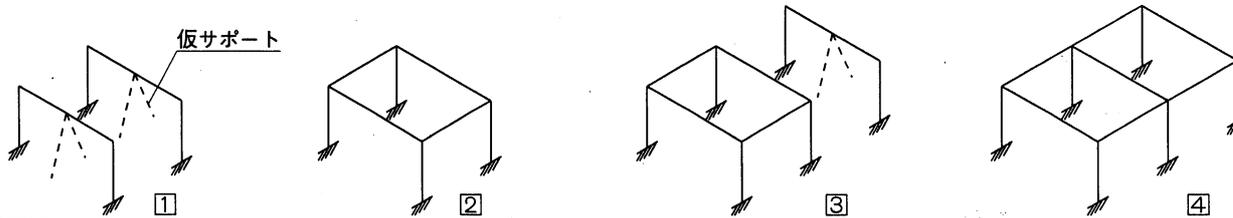
①中間桁をφ5×16トラス4本で中間柱に取付けます。

②前後桁をφ5×16トラス4本で雨樋柱に取付けます。  
 注) 前もしくは後半分の前後桁、側桁(次ページ参照)を先に組付けると残りの半分の施工が容易となります。  
 注) 側桁の取付け上、雨樋柱の柱脚は完全に固定しないで下さい。

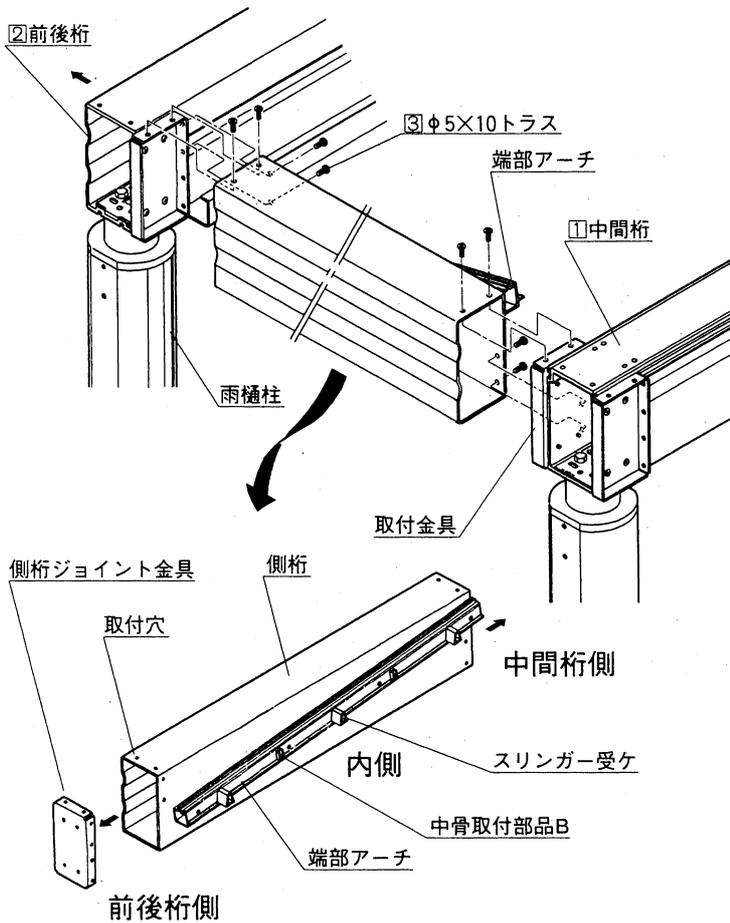


## ポイント

①～④の順番で組立てると、作業が容易になります。



## 6. 側桁の取付け



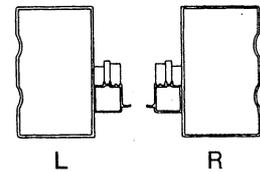
①側桁を中間桁の取付金具へ差し込みます

②前後桁を矢印の方向へ押し出し、側桁を取付金具へ差し込みます。

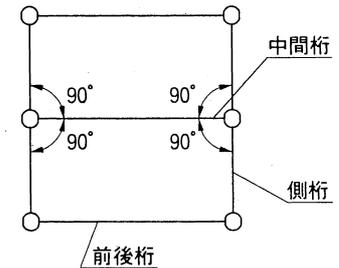
③側桁と取付金具をφ5×10トラス（樹脂ワッシャー付）両端各4本で固定します。

注) 柱のレベル出し、位置出しが不正確の場合は、側桁の取付穴と側桁ジョイント金具の取付穴が適合しませんので注意して下さい。

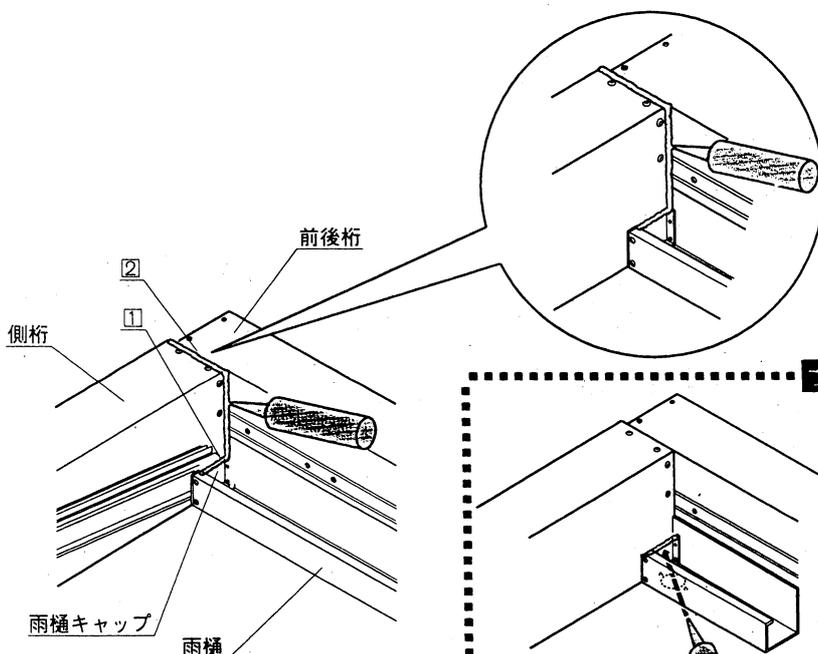
注) 側桁のR、Lに注意して下さい。



④完全に固定する前に側桁と中間桁が90°であることを確認して下さい。



## 7. 前後桁・側桁のコーキング



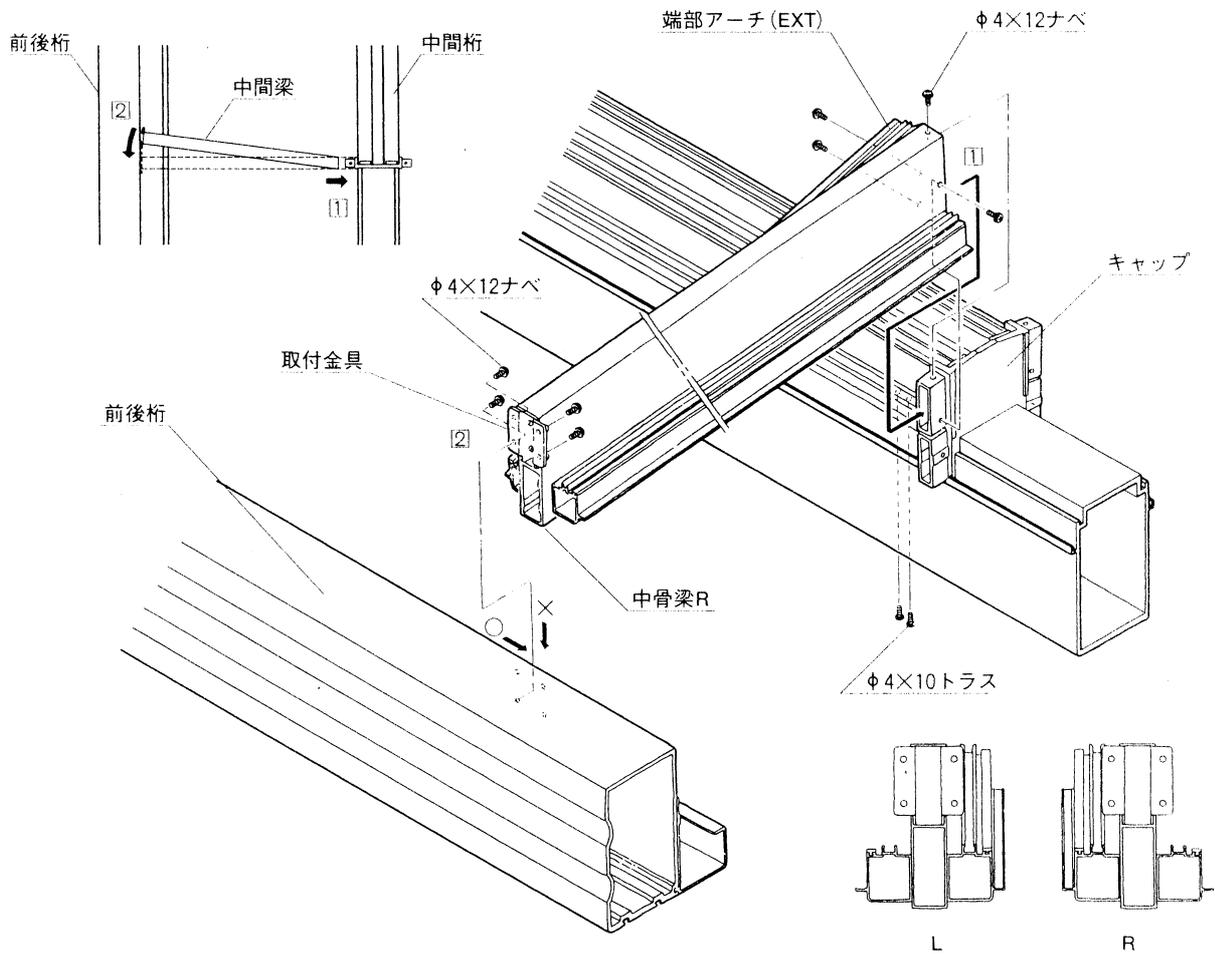
①雨樋キャップと側桁の接触面にコーキングを行って下さい。

②前後桁と側桁の内側および上側の接触面に図の通りコーキングを行って下さい。

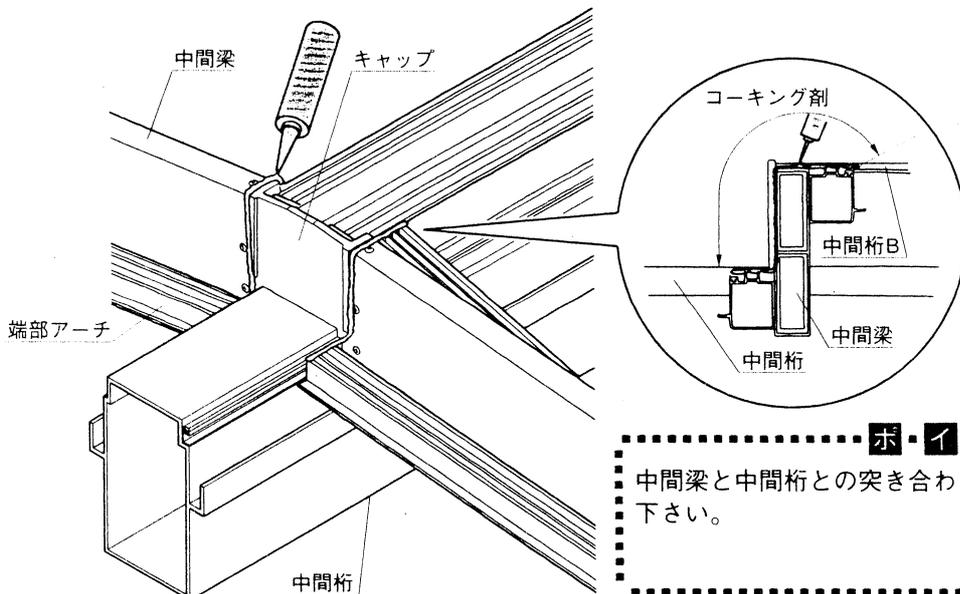
③側桁取付後、雨樋キャップと雨樋の接合面のコーキングが完全であるかどうか確認して下さい。

雨樋の丸穴から、雨樋キャップと側桁のすき間をコーキングして下さい。

# 8. 中間梁の取付け



- ① 中間梁の取付金具のない方を、中間桁側のキャップに差し込みます。
- ② 取付金具側を、○印の方向から移動させ穴位置を合わせます。(×印の方向から入りません。)
- ③ 中間梁の両端をそれぞれ、φ4×12ナベ(樹脂ワッシャー付)4本で固定します。
- ④ 端部アーチ(EXT)の中間桁側のみ、φ4×10トラス2本で固定します。

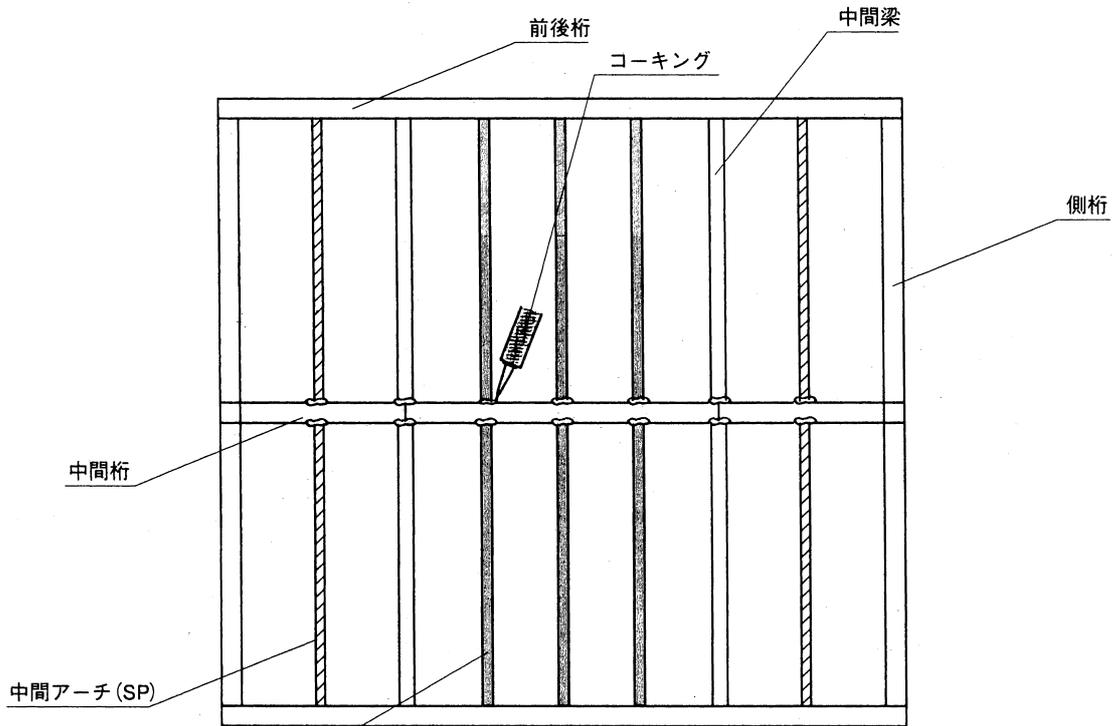


- ⑤ キャップと中間梁の継目は左記の範囲でコーキングして下さい。側桁側の端部アーチと中間桁との継目も同じようにコーキングして下さい。

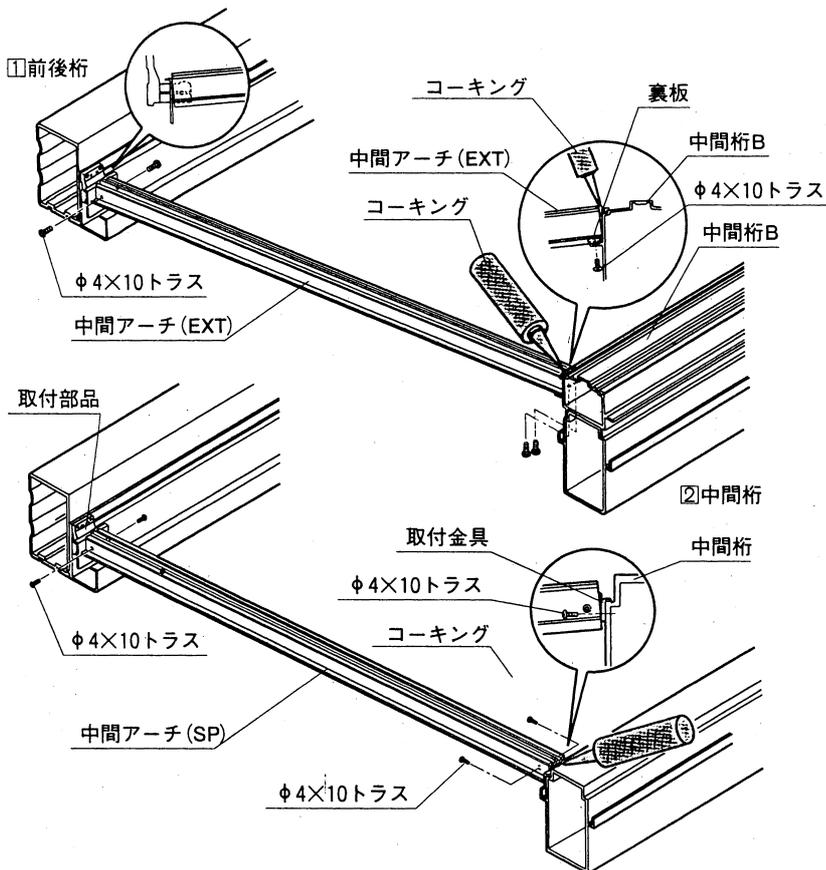
**示・イ・ン・ト**

中間梁と中間桁との突き合わせ部は、必ずコーキングして下さい。

# 9. 中間アーチの取付け



▲正面



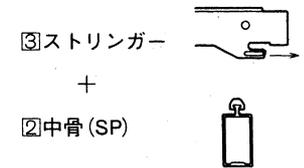
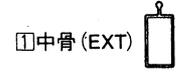
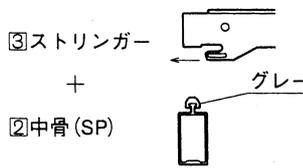
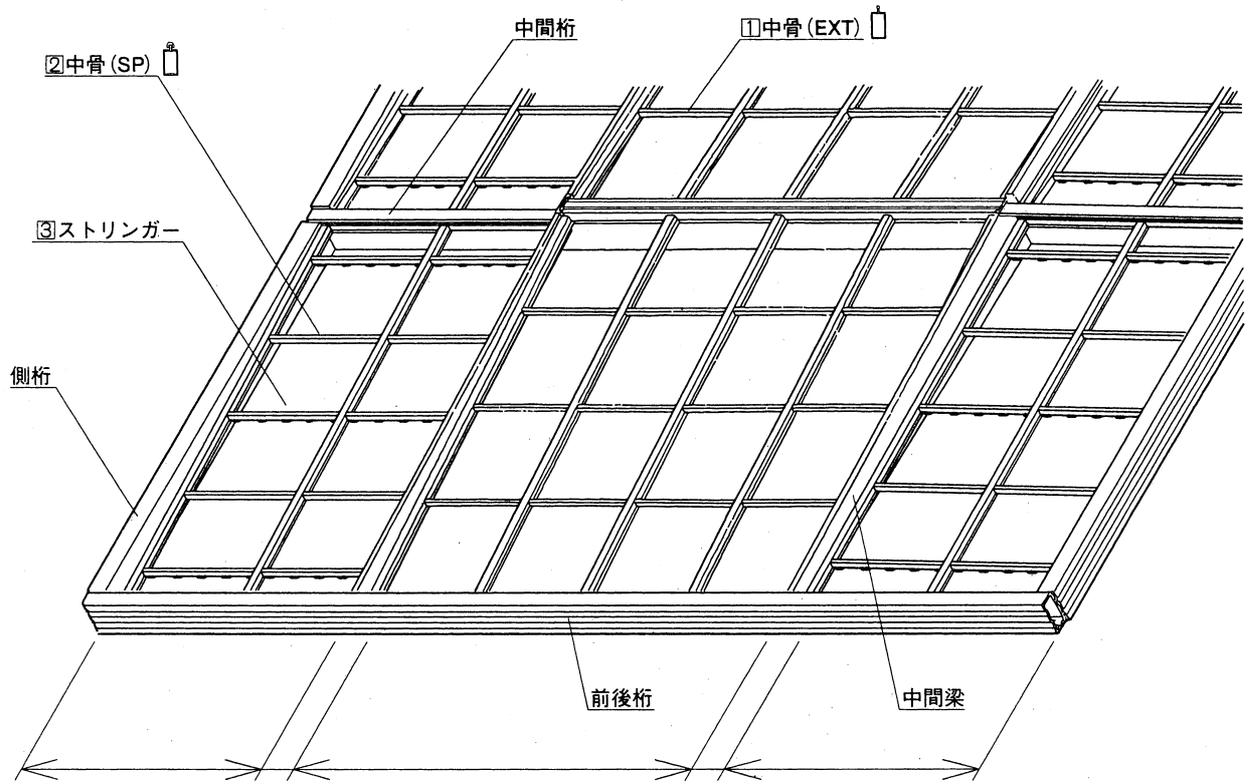
① 中間アーチ (SP)、(EXT) を前後桁の取付部品に差し込みφ4×10トラス2本で固定します。

② 中間桁側の穴位置を合わせ、φ4×10トラス2本で固定します。

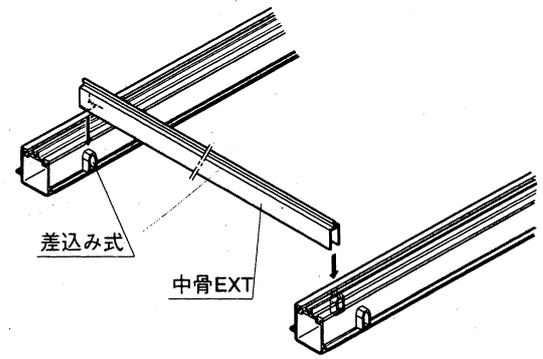
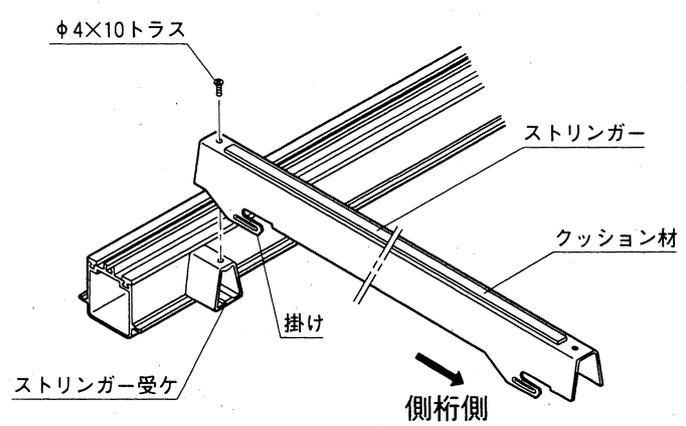
③ 中間桁と中間アーチ (SP) のジョイント部および、中間桁Bと中間アーチ (EXT) のジョイント部に、それぞれコーキングを施して下さい。

**ポイント**  
 中間アーチと中間桁の突き合わせ部は、必ずコーキングして下さい。

# 10. 中骨、ストリンガーの取付け



① 中骨 (EXT) を上図の範囲で取付けます。

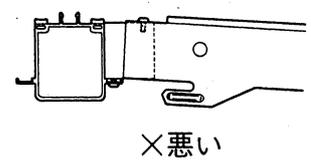
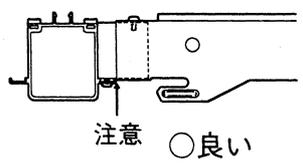


② 中骨 (SP) を同様に取付けます。

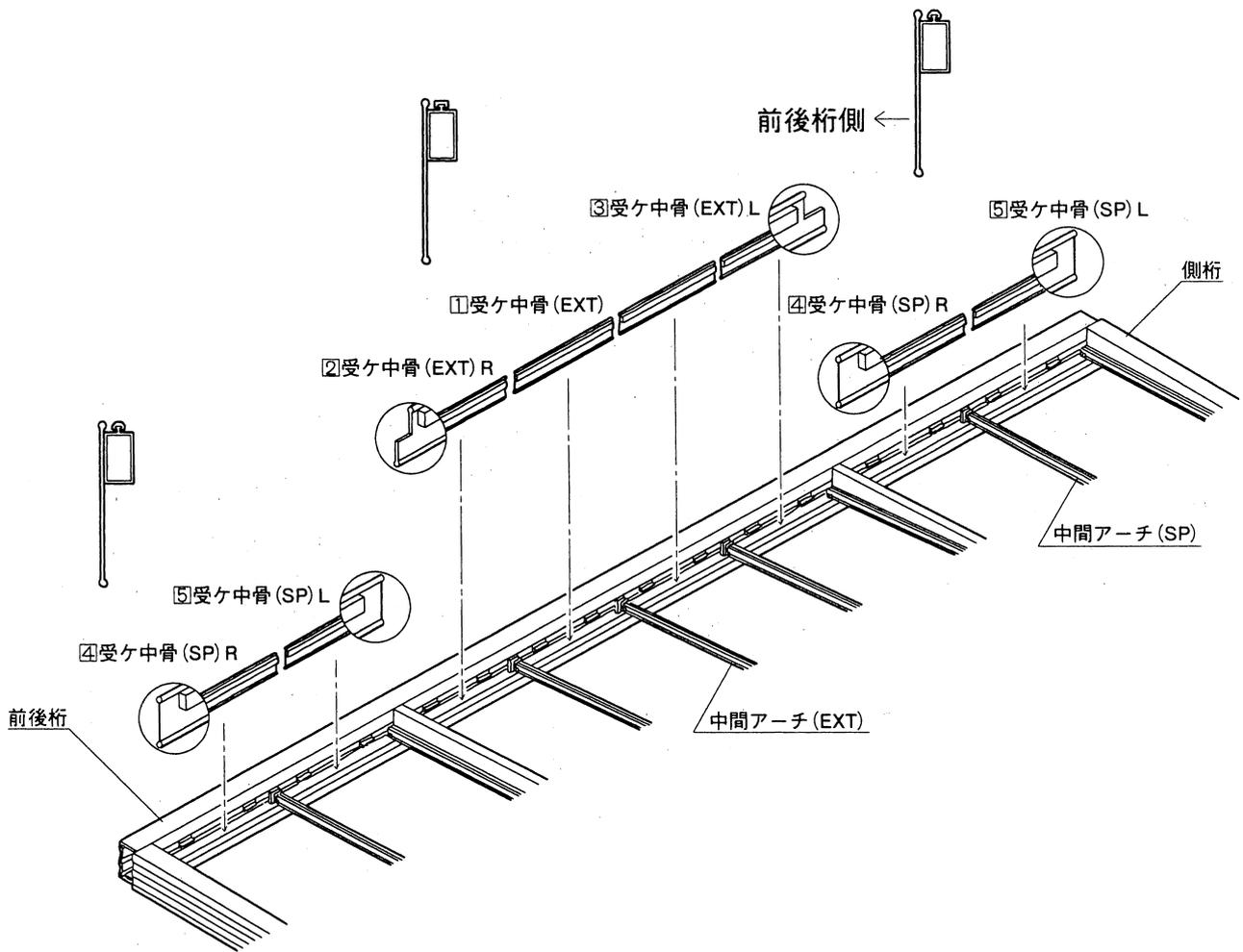
③ ストリンガーをφ4×10トラスでストリンガー受けに取付けます。

注) ストリンガーの掛け部分は必ず側桁側へ向けて下さい。

注) ストリンガー端部がアーチの上に乗りに上げていないことを確認して下さい。

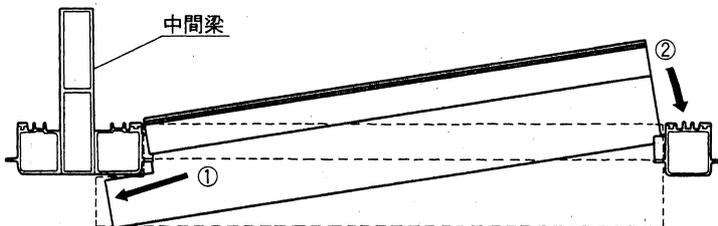


# 11. 受け中骨の取付け

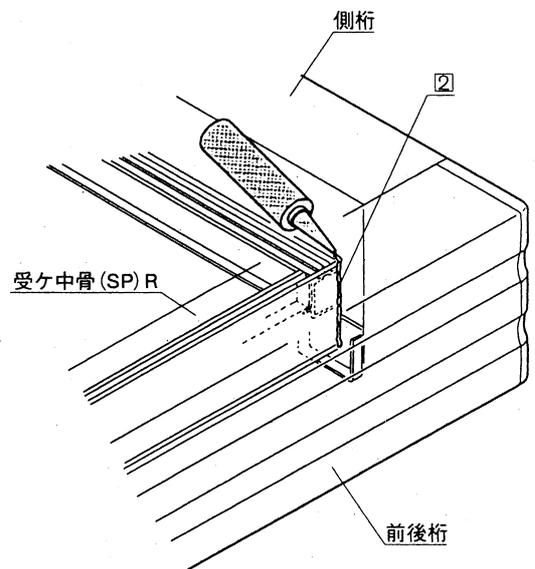


①受け中骨を中骨と同様差込み式で取り付けます。

※受け中骨 (EXT) R, L 取付けの際は、水切りプレート  
の切吹き側から取付けて下さい。①→②

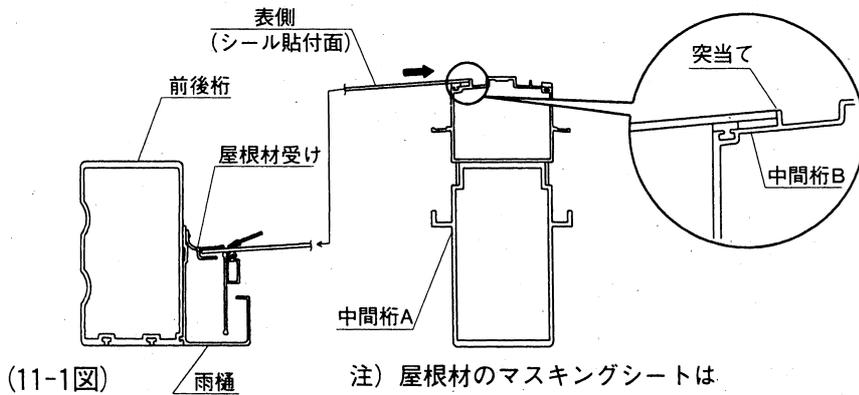


②受け中骨 (SP) R, L 取付け後、側桁との接触面にコーキングを行って下さい。



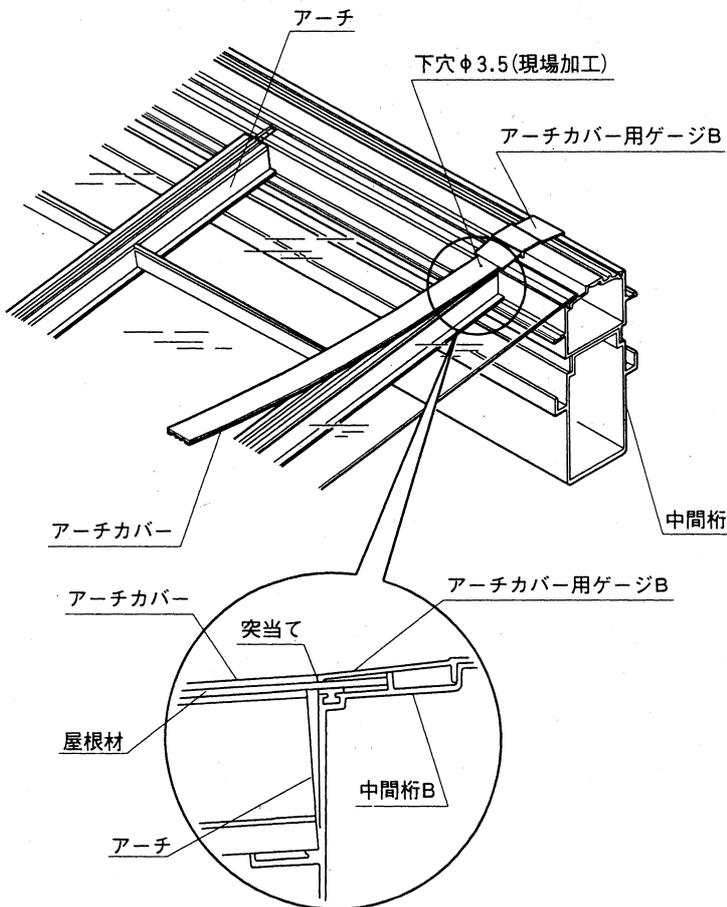
**示・イ・ン・ト**  
受け中骨と側桁の突き合わせ部には、必ずコーキングして  
下さい。

## 12. 屋根材A(硬質塩ビ板)の取付け

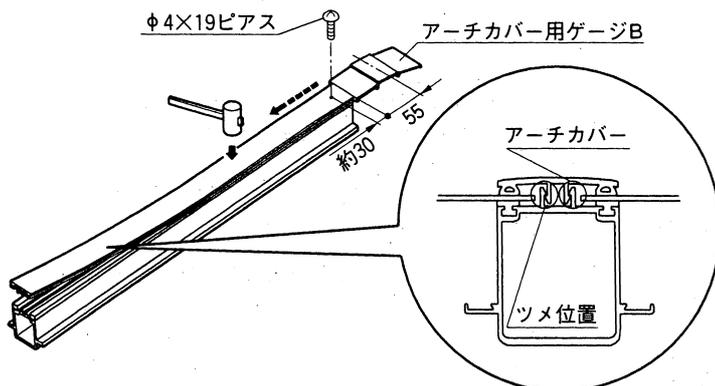


(11-1図)

注) 屋根材のマスキングシートは必ずおはがし下さい。



(11-2図)



(11-3図)

**ポイント**  
屋根材取付け前に7. 8. 9. 11項のコーキング指示箇所を必ず確認して下さい。

① 屋根材を中間桁のリップに突き当てて屋根材受けに差し込んで下さい。

(11-1図参照)

注) 屋根材の表側には準難燃認定シールが貼ってありますので必ず表裏を確認してから屋根材を差し込んで下さい。

② アーチカバー用ゲージBを中間桁Bの上に置き、アーチカバーを突き当てます。

(11-2図参照)

注) アーチカバーの中間桁側、約30mmの位置のツメの中心にφ3.5の下穴をあけて下さい。

(アーチ本体への穴加工は不要です)

③ アーチカバーは木づちでたたきながらアーチに固定して下さい。

(11-3図参照)

注) アーチカバーとツメ位置が一致していること確認してから取付け作業を開始して下さい。

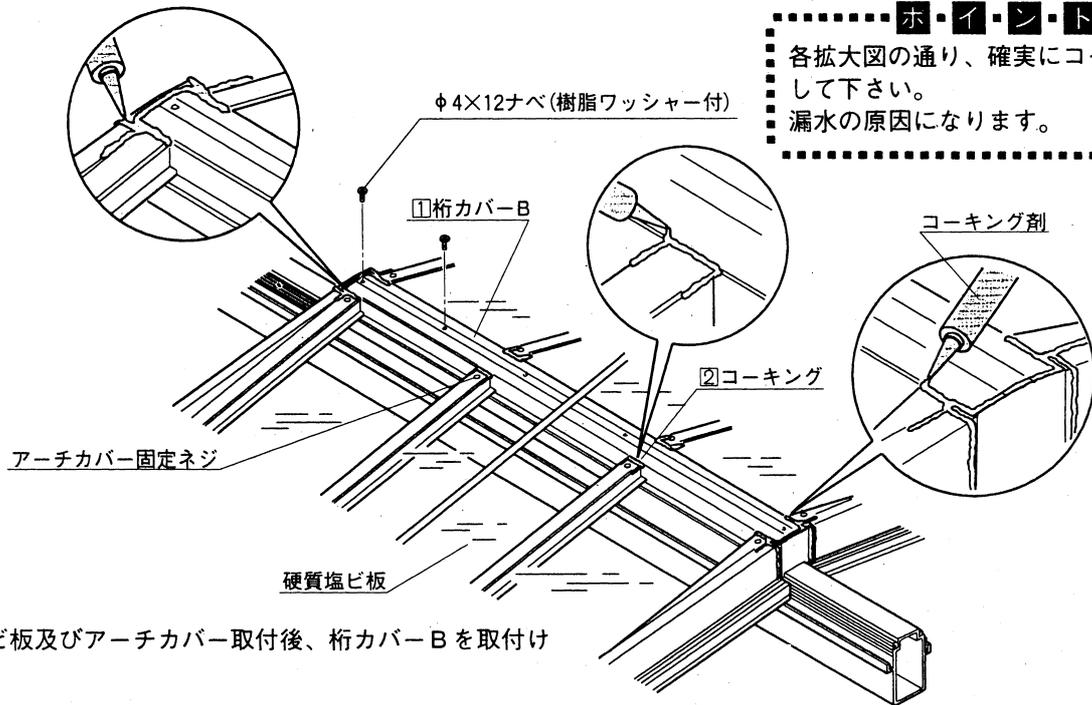
注) 木づちでたたき間隔はきめ細かくし、取付完了後はアーチカバー全長に渡ってしっかり固定されていることを必ず確認して下さい。

④ アーチカバー固定後、アーチカバー固定ネジφ4×19ピース(樹脂ワッシャー付)を取付けます。

注) アーチカバー固定ネジは各アーチカバーとも中間桁側1本のみとします。

注) アーチ自体には穴はあいておりません。

# 13. 桁カバー-Bの取付け



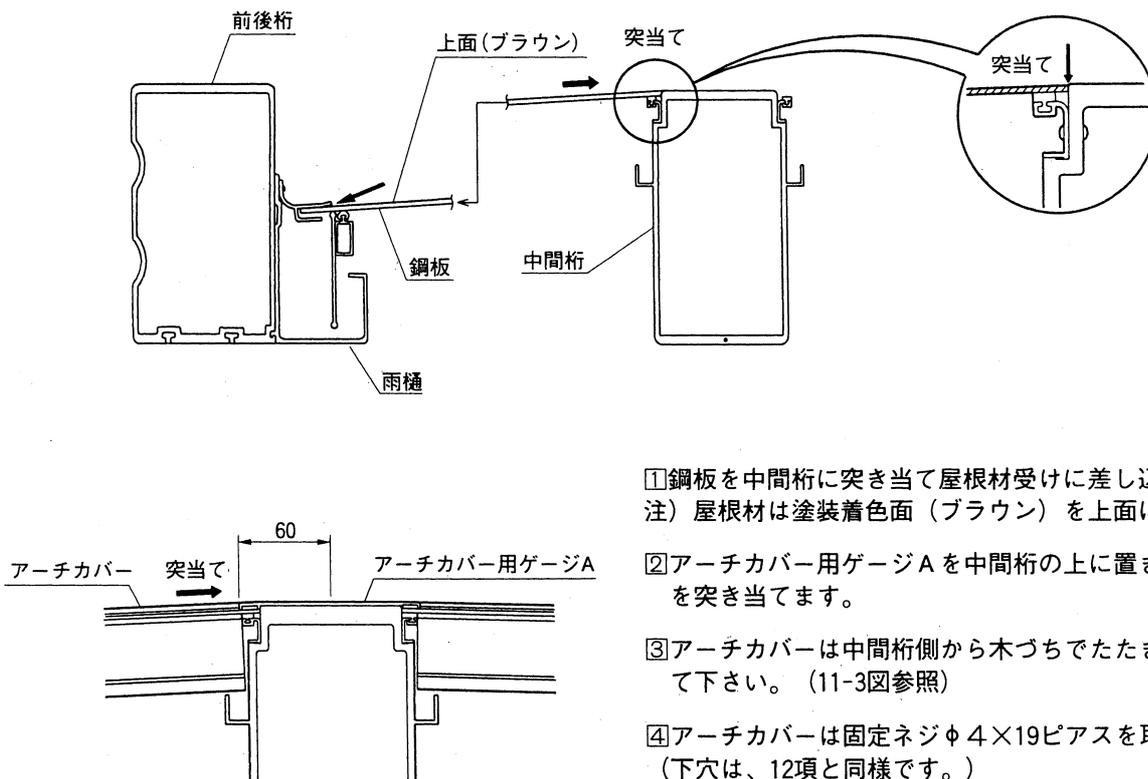
**ホ・イ・ン・ト**  
 各拡大図の通り、確実にコーキングをして下さい。  
 漏水の原因になります。

①硬質塩ビ板及びアーチカバー取付後、桁カバー-Bを取付けます。

注) 次の屋根材B (鋼板) を取付ける前に必ず桁カバー-Bを取付けて下さい。

②桁カバー-Bの両端及び、アーチカバーと桁カバーの接点をコーキングします。

# 14. 屋根材B(鋼板)の取付け



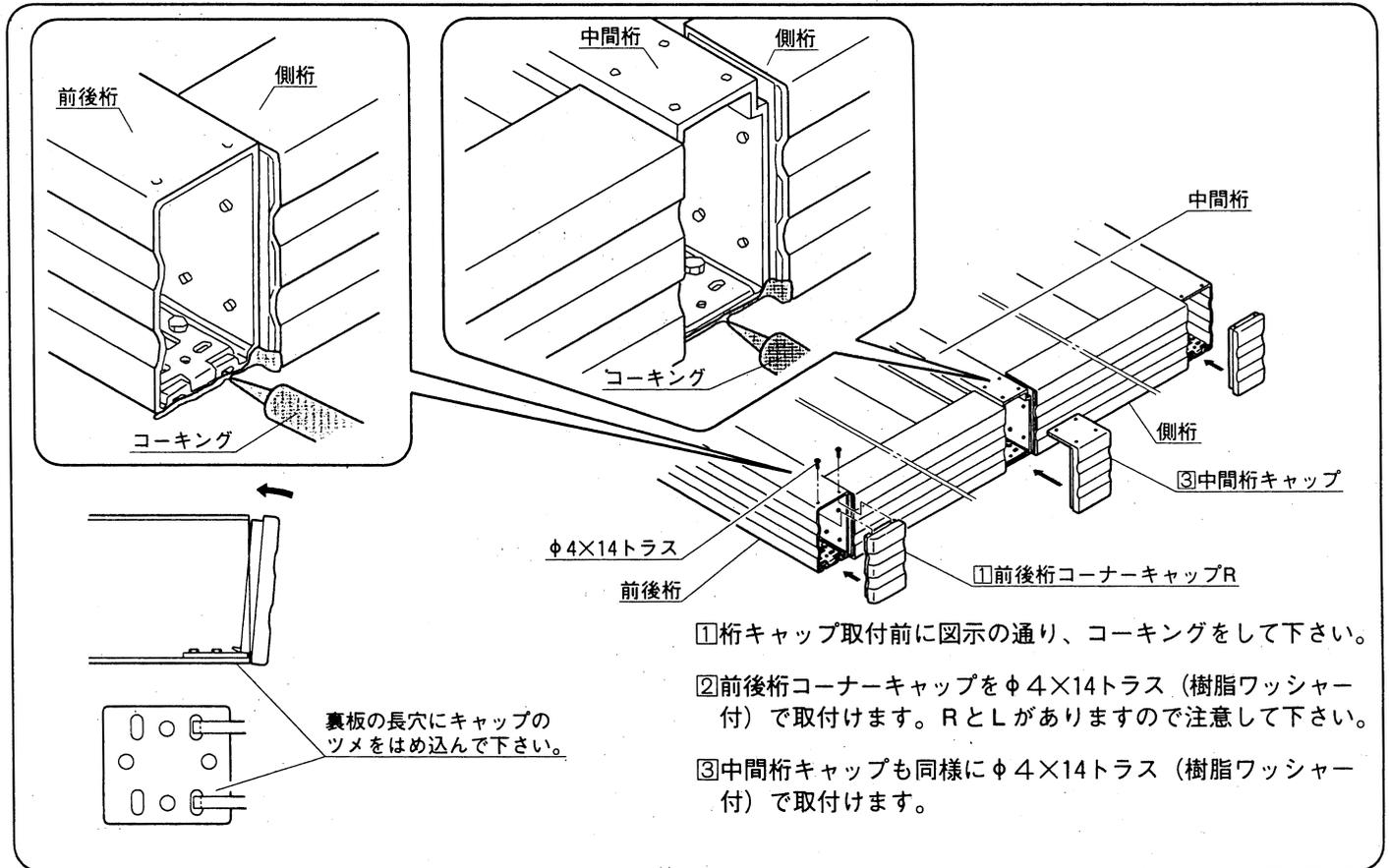
①鋼板を中間桁に突き当て屋根材受けに差し込んで下さい。  
 注) 屋根材は塗装着色面(ブラウン)を上面にして下さい。

②アーチカバー用ゲージAを中間桁の上に置きアーチカバーを突き当てます。

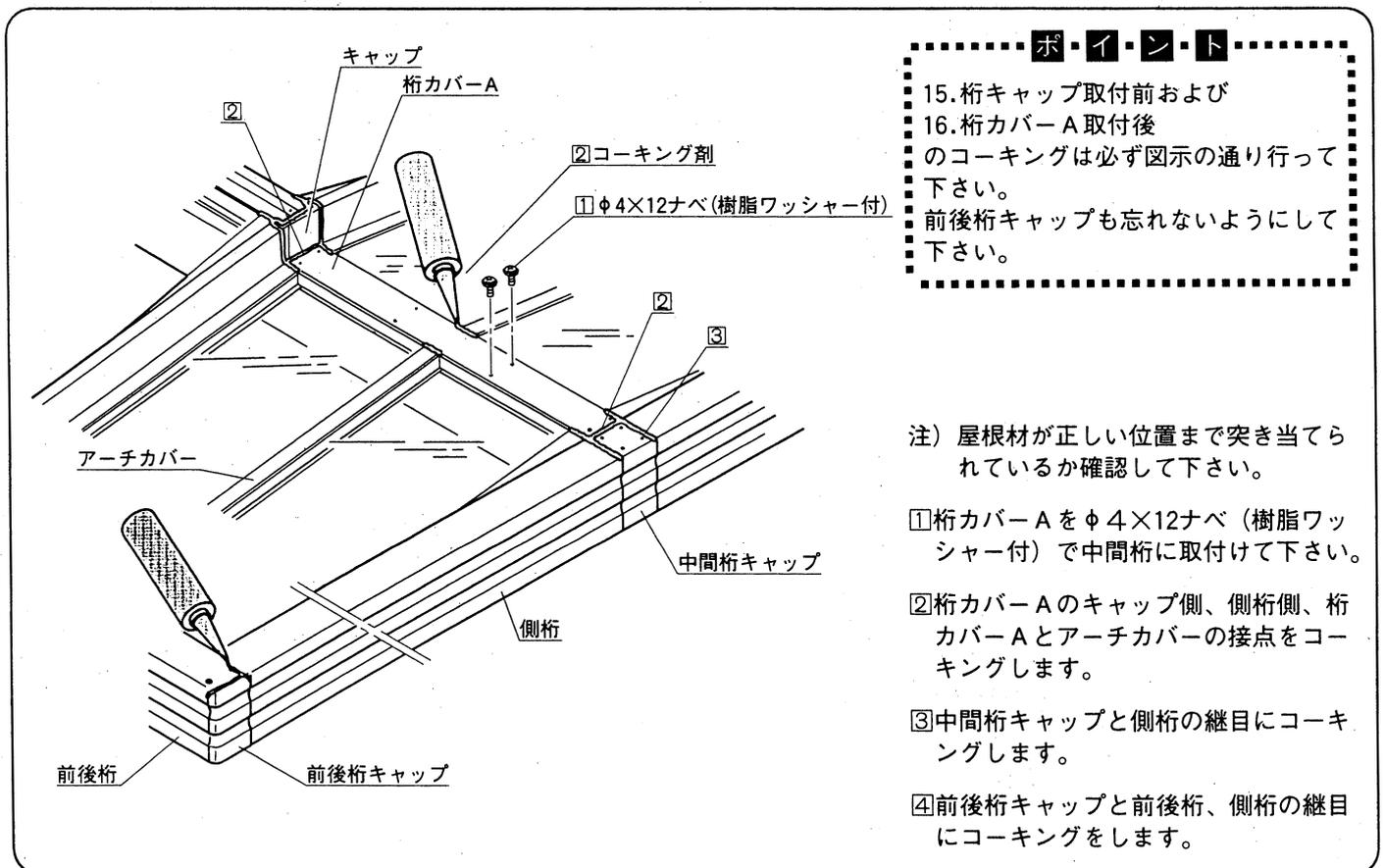
③アーチカバーは中間桁側から木づちでたたきながら固定して下さい。(11-3図参照)

④アーチカバーは固定ネジφ4×19ピースを取付けます。  
 (下穴は、12項と同様です。)

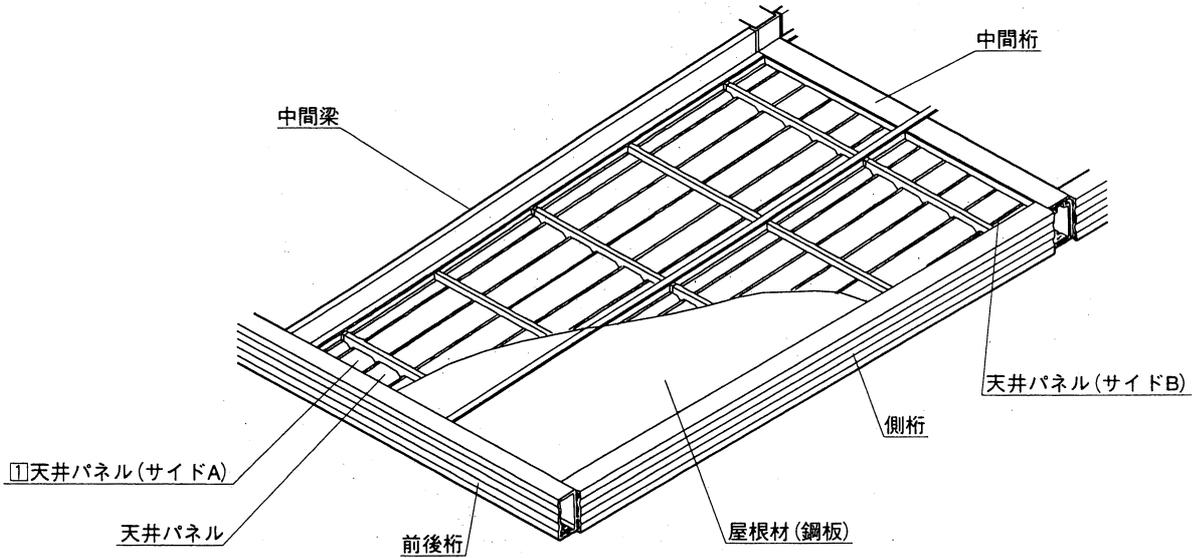
## 15. 桁キャップの取付け



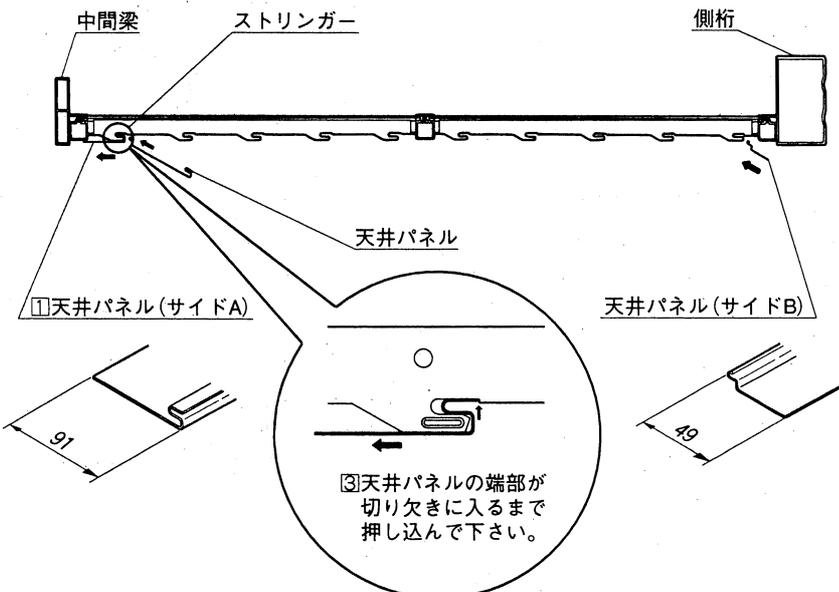
## 16. 桁カバーAの取付け



# 17. 天井パネルの取付け



(17-1図)



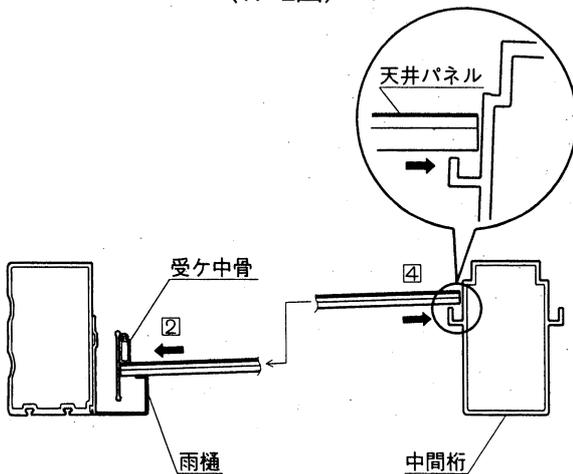
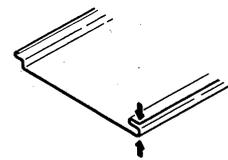
(17-2図)

注) ①～⑤の作業は天井パネル1枚ずつについて行って下さい。

①天井パネル(サイドA)を中間梁側に向かって差し込みます。(17-2図参照)

②各パネルともまず、雨樋と受け中骨のすき間に天井パネルを差し込みます。(17-3図参照)

注) 差し込みにくい場合は端部を手でつぶして下さい。



(17-3図)

③ストリンガー3ヶ所全ての取付点で”パチン”という音がするまで押し込みます。

④天井パネルを中間桁側へ移動させ突当てます。

注) ③の通り天井パネルの取付が正確でない場合は④の作業ができません。

⑤天井パネル間の目地が正確かどうか確認して下さい。

注) 目地が部分的に開いている場合は、ストリンガーへのはめ込みが不十分な場合です。

## 18. パネル受ケ・後付けビート材の取付け

①天井パネルの取付完了後、パネル（サイドA）、（サイドB）の中間梁側、側桁側にそれぞれパネル受ケを、φ4×10トラスで取付けます。

②後付ビート材を天井パネルと雨樋のスキマに先端が引っかかる場所まで差し込んで下さい。（4か所）

③後付ビート材端部にコーキングをして下さい。

**ポイント**

- 後付ビート材の上下をまちがえないように注意して下さい。
- 後付ビート材は、しっかりと差し込んで下さい。

## 19. 雨樋セットの取付け

①丸樋①、②ともに46mmに切断します。

②パッキン、アタッチメントを雨樋にφ4×10トラスで取付けます。

③樋受けをφ4×10トラスで、雨樋柱カバーに取付けます。

④各接合部に接着剤を塗り、エルボー丸樋①→エルボー丸樋②の順で組立てます。

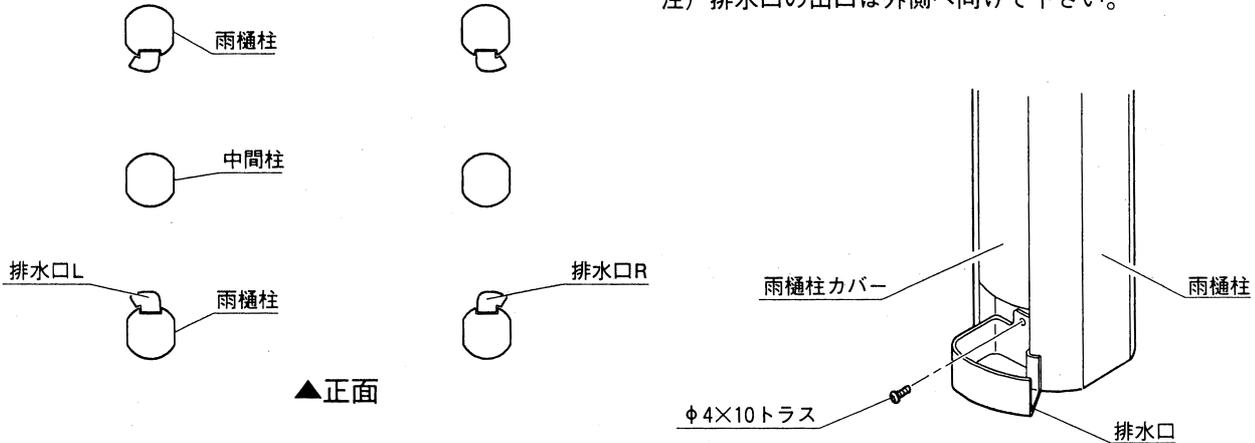
⑤下図の通り丸樋②、エルボを水平にし、回しながら樋受けに差し込んで下さい。

注) 接着剤が固まらないうちに取付けて下さい。

## 20.排水口の取付け

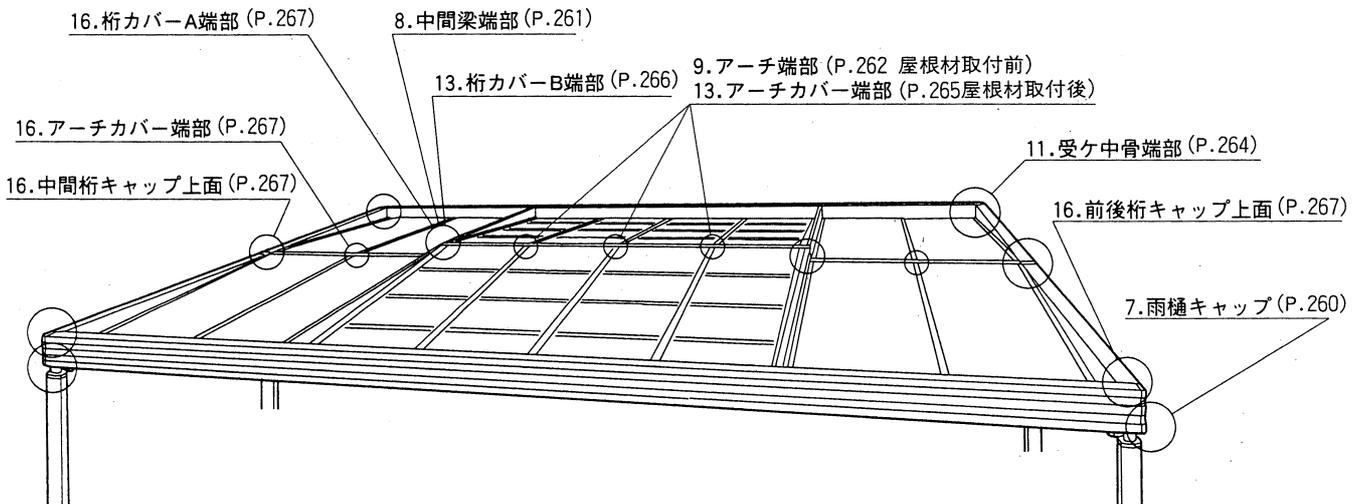
雨樋柱の下部に排水口をφ4×10トラスで取付けます。

注) 排水口の出口は外側へ向けて下さい。



## 21.コーキングの確認 —組付完了後、必ず下図のコーキングが正しく行われているかご確認下さい。

**注 意**



前後桁、中間桁、側桁、桁カバーA、Bおよび中間梁に使用した樹脂ワッシャー付ネジの、樹脂ワッシャーが正確に取付いているか、ご確認下さい。

破損している場合は、ネジ全体をコーキングして下さい。

### 工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。  
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

### 施主様へ

- 積雪が20cmを超えないうちに必ず雪おろしをして下さい。
- 絶対に屋根の上に乗らないで下さい。

取脱コード

**D120**

IB-C①  
IF-C④